

新潟県

【設問1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

別添資料「医師確保対策」参照

【設問2】

設問1で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※24年度から実施の5県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

○県修学資金貸与生に対するキャリア形成支援等の検討

- ・大学、行政、医療関係者等から構成される検討委員会を設置。
- ・検討委員会を3回開催し、県修学資金貸与生のキャリア形成支援や効果的な配置のあり方等について検討を実施。

○県外医師等への情報発信を強化するため、民間医師紹介業者のホームページを活用した広報の実施

この他、24年から実施する「医師配置基礎調査」の事前準備、「ドクターバンク事業」の制度構築、「県修学資金貸与生に対する地域医療実習」の新たな企画の検討などを実施。

【設問3】

設問2で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。（あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など）

○センター設置後間もないため、医師確保数など具体的な事業実績はありません。

【設問4】

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点（課題）があれば、ご記載ください。

○人員配置、特に専任医師の安定的な確保

【設問5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

○医療圏別の医師不足状況を把握するための実態調査（医師配置基礎調査）

○県外医師の招聘を促進するためのドクターバンク事業の運営

○県修学資金貸与生等に対するキャリア形成支援、配置先医療機関及び配置方針等に関する制度運用のとりまとめ

○県修学資金貸与生等に対する地域医療実習の実施

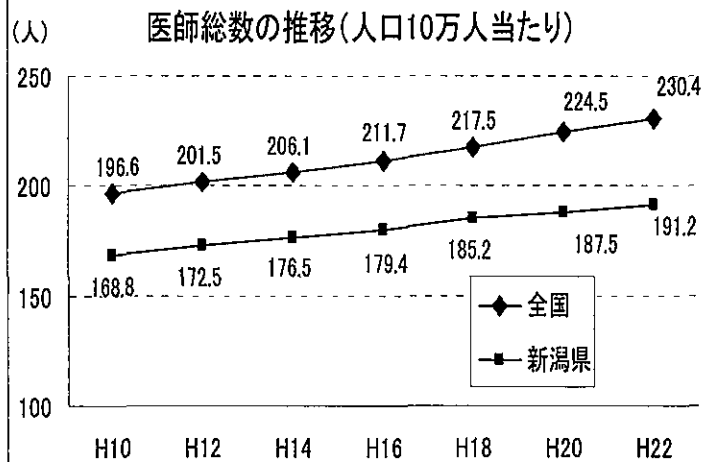
○新潟大学医学部地域枠学生との懇談会の開催

○県内進学校における医学部進学セミナーの開催

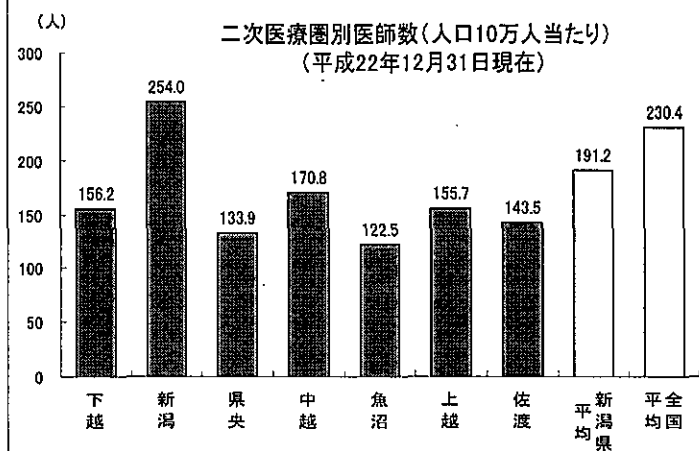
医師確保対策

現状

- 人口10万人当たり医師数は全国42位で全国との単純比較では931人不足



- 県内二次医療圏で全国平均を上回るのは新潟医療圏のみ



課題

- 医師の絶対数の不足(全国との差は拡大傾向)
- 県内の地域偏在の解消(特に魚沼、県央で深刻)

取組

事業費:5億4,400万円(勤務医招へい等緊急対策:315百万円、
医師養成修学資金貸与:184百万円、寄附講座:45百万円)

医師数増加対策

【短期的取組】

- 県内17の臨床研修病院と連携した臨床研修医確保対策
- ドクターバンクや民間医師紹介業者活用による県外医師の招へい

【中長期的取組】

- 新潟県地域医療支援センターによる地域医療に従事する医師の養成及び効果的配置の検討(県修学資金貸与医師の活用等)
- 新潟大学大学院に総合地域医療学講座を設置(新潟大学医学生の魚沼地域での地域医療実習)
- 研修・研究機能や高度・救急医療などの機能を備えた医師にとって魅力がある病院の整備(魚沼基幹病院(仮称)、ドクターヘリの導入、県央医療体制の再構築)

勤務医負担軽減対策

- 県内病院に対する医師事務補助者の配置支援
- 救急勤務医等の処遇改善や新潟県女性医師ネットによる相談支援

国に対する抜本的な制度改革の要望

- 医学部新設等医師養成に関する規制緩和
- 医師の地域偏在解消に向けた実効性ある対策